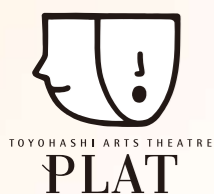


- 4 [土・祝]—5 [日・祝] 大道芸 in とよはし2024◎PLAT主ホールほか
- 11 [土] 第3回 城バリエスタジオミニコンサート◎PLATアールスペース
- 12 [日] K☆STAR Dance Studio Show Case vol. 7◎PLAT主ホール
- 19 [日] 第三十二回吉田をどり◎PLAT主ホール
- 21 [火] 第52回桂文我独演会◎PLATアールスペース
- 29 [水] プラットワンコインコンサート デュオ・ミスコラーレ「交差する彩」◎PLATアールスペース



表紙/加納真実「大道芸 in とよはし 2024」
 裏表紙/桑原裕子、白神ももこ
 企画・発行/
 公益財団法人豊橋文化振興財団
 編集・デザイン/
 味岡伸太郎+有限公司STAFF
 令和6年4月発行67号【隔月発行】



- 1 [土] 国際ソロプチニスト豊橋 認証40周年記念事業 西本智実が語る音楽の世界◎PLAT主ホール
- 8 [土] 豊橋吹奏楽団 The 7th Regular Concert◎PLAT主ホール
- 14 [金]—16 [日] PLATレジデンス事業 新作共同制作 アマヤドリ『牢獄の森』◎PLATアールスペース
- 22 [土] 第7回 コーロ・フェリーチェ演奏会◎PLAT主ホール
- 29 [土]—30 [日] 『La Mère 母』『Le Fils 息子』◎PLAT主ホール

PLAT NEWS



公益財団法人
 豊橋文化振興財団情報誌
 2024年5月—6月
 vol. 67
 TOYOHASHI
 ARTS
 THEATRE
 PLAT

プラットニュース

PLAT NEWS

1
目次
表紙の顔

2
INTERVIEW:1
大道芸 in とよはし 2024
オリジナリティーを持った大道芸人が豊橋には行きます。
橋本隆平

5
INTERVIEW:2
『La Mère 母』『Le Fils 息子』
親子で観れば何かしらの奇跡が起きる作品です。
岡本圭人

7
PURA PURA
バラコの寄り道ぶらぶら
自分で遊びを生み出すことが素晴らしい。
桑原裕子
誰もが来て、居て良い劇場でありたい。
白神ももこ

9
INFORMATION
PLAT 主催公演情報

13
COLUMN
13年間、ほんとうに幸せでした。
これからも「よろこび」が絶えないことを願っています。
平田満

14
SPONSOR
SUPPORT
TICKET CENTER



橋本隆平 [はしもと・りゅうへい]
幼少時より大道芸フェスティバルプロデューサーである父、橋本隆雄と共に、フェスティバル運営に携わり、その経験から現在も、国内の数多くのフェスティバルにおいて、統括ディレクターを務める。また自身も様々な分野において大道芸を中心にしたフェス・イベントのプロデュースも手掛けている。その他、海外との交流も持ち、主にヨーロッパを中心に、パフォーマーの招聘活動も行う。へブンアーティスト統括ディレクター、日テレ黄金週間ARTDAIDOGEIプロデュース、Tokyo ミッドタウン Open the Park Performance プロデュース、AP BANK FES 2010 大道芸プロデュース、高松大道芸フェスタ総合プロデュース、他多数。



岡本圭人 [おかもと・けいと]
音楽活動に加え、バラエティ・舞台・TVドラマ・ラジオ・CMなどマルチに活躍。18年から20年まで、アメリカ最古の名門演劇学校であるアメリカン・アカデミー・オブ・ドラマティック・アーツへ留学。卒業後、『Le Fils 息子』(21)でストリートブレイ初舞台・初主演を飾る。近年の主な出演作に、【舞台】『ラヴ・レターズ〜2024 New Year Special〜』(24)、『チョコレートドーナツ』『ハムレット』(23)、『4000マイルズ〜旅立ちの時〜』『盗まれた電撃パーシー・ジャクソン ミュージカル』『M. パタフライ』(22)、『Le Fils 息子』(21)、【ドラマ】『大奥 Season2』(23・NHK)、『リズム』(23・CX)、『育休刑事』(23・NHK)など。



加納真実 [かのう・まみ]
1987年上京をきっかけにパントマイムサークル「舞・夢・踏(まいむとうハッピー吉沢氏主宰)」に入部。1995年に島留美(ぼっか)、村田朋未(パーバラ村田)と共に、マイムユニット「水中三姉妹」結成。舞台を中心に活動を始める。2002年に東京都公認の大道芸人「へブンアーティスト」のライセンスを取得し、路上パフォーマンス(大道芸)に目覚め始める。2003年「日テレARTDAIDOGEI グランプリ」で、スペシャルアーティスト賞を受賞。現在、日本屈指の人気大道芸人として活躍中。「とよはしアートフェスティバル『大道芸 in とよはし』」には2012年からすべての年に出演。



白神ももこ [しらが・ももこ]
振付家・演出家・ダンサー。ダンス・パフォーマンスのグループ「モモンガ・コンプレックス」主宰。モモンガ・コンプレックスでは全作品の構成・振付・演出を担当。無意味・無駄を積極的に取り入れ、生活の中の些細なできごとやダンス以外の表現方法も自由に取入れユニークな空間を醸し出す。2017〜2018年度セゾン文化財団ジュニアフェロー。2019年より埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督に就任。桜美林大学、四国学院大学非常勤講師。

世界で活躍する大道芸人達の超豪華ラインナップ。
5月4日[土・祝]11:00~19:00、5日[日・祝]11:00~17:30
会場=穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 北側広場、ココアベニュー 2階テラス、豊橋駅南口駅前広場、豊橋駅東口サークルプラザ、こども未来館ここここ、まちなか広場、精文館書店 本店前(5/5のみ)



大道芸 in とよはし 2024

オリジナリティーを持った大道芸人が豊橋には行きます。橋本隆平 大道芸プロデューサー

聞き手 大橋玲 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 事業制作部

大橋—— PLAT がオープンする前からやっているの、今回で、もう13回目になります。
橋本—— 13回って簡単に思うけれど、最初の頃に見ていた子たちはもう成人して、いよいよ子どもを連れて来るようになって。親子3代で大道芸に来るようになった。それはすごく大きな財産だと思います。
大橋—— 隆平さんはいろんな街で大道芸をプロデュースしてきていますが、豊橋と言えばという特徴はありますか。
橋本—— 豊橋の人たちは温かいし、盛り上がり感感情を表に出してくれるのが分かりやすく、とてもやりやすいとパフォーマーの人たちも思っている。
豊橋はコロナ禍もフェスティバルの旗を降ろさないで、揚げ続けてくれた街だし。そんな中で、去年久しぶりに街中に復活して、ほぼフルスペックに近いフェスティバルになり、まちなか広場という新しい会場も増えました。通常新しい会場は周知が難しく大変なのですが、始まる前の時間からお客さんは待っていてくれました。これが豊橋なんだと、「ああ、待っていてくれる」という、この感じは久しぶりだなと思った。ありがたいことです。
あとは、大道芸フェスティバルと言っても、ジャグ

リングとか、いわゆる一般的なイメージの大道芸をただ街にちりばめるというわけではなく、いろんなジャンルの人たちが行く。普段、子どもを連れて大道芸フェスティバルを見に行こうと思ったとき、分かりやすいようなパフォーマンスの方に食指を伸ばしたくなる気持ちはあるじゃないですか。でも、豊橋はフラメンコのオジロスや、ジャズの竹内直でもお客さんがバッチリ埋まる。
いろんなジャンルに分け隔てなく、興味を持って、親しみを持って近づいて来ていただいている。それも豊橋の特徴ですね。
大橋—— 音楽の人たちは劇場で見るのと、外で聴く、体験するというのは全然違いますね。
橋本—— 全然違います。外でやるというや応なくいろんな音が混ざっている。その中に、いつもとは違う音楽が流れ始めると、街の空気は絶対に変わる。それを全部ミックスして聴くというのは、聴き手側としてはとても新鮮だし、街を歩いているときにふっと無意識に聴こえてきたもので心のスイッチがちょっと上がるといふ喜びも外で聴く音楽にはある。音楽が、街の空気に溶けていく。
あと、遮蔽物があったら視覚はすぐに遮られるが、

音楽は見なくても聞こえてくる。パフォーマンスが見えてなくても音楽が聞こえる範囲が広がるので、街が華やぐ。その時に生演奏は圧倒的に力強いから、ミュージシャンはフェスティバルには欠かせません。

大橋——今年、豊橋に来る芸人さんのことを教えてくださいいただけますか。

橋本—— Asterisk NOVAという二人組が豊橋初登場！中国雑技を勝る技をいよいよ日本人もやるようになりまして！下からどんどんポールを積み上げていって、一番上で片手倒立をしたり、3メートルの平均台の上で倒立をしたりバク転をしたりする。日中両方の荒業師が出ます。

Dctpeppers Theatreの巨大な操り人形の象も初登場！フランスのカンパニーのロワイヤル・ド・リュクスやラ・マシムに向かうベクトルのものが、ついに日本に出てきたのはすごくうれしいニュース。Dctpeppers Theatreの人形劇は、クオリティーが高く、いい作品を生み出している。人形劇は、一般的な演劇とは違うが、フェスティバルに劇団(演劇)も入っていけるんだという、今後のメッセージにもなる。

大道芸が演劇と違うのは途中から見ると人もいっぱいいること。だから前提の共有事項を極力ない状態でも、途中からでも参加できるような構成を持った人たちが、もうそろそろ出てきていいと思っています。ダンスとかミュージシャンはもう垣根は取れているが、一番演劇界が難しいですね。

他にも青いジャージの狂気、加納真実さんも来るし、世界を旅する芸人、コメディ&パペットパフォーマンスのFUNNY BONESも来ます。毎年のように舞踏の大駱駝艦も来る。いろんなジャンルの人たちがいて、変わらず強いメンバーで行きます。

まったく去年と同じってわけでもなく。どこに行ってもその人にしか出せない味わいで。いろんな表現者の人たちがオリジナリティーと個性を持って、自分のパフォーマンスとか自分のショーを練り上げて、豊橋の大道芸フェスティバルには出てきてもらいます。

大橋——ありがとうございます。楽しみにしていますので、今年もよろしくお願いします。

⑧ オジロス

[フラメンコ]

激しく情熱的な踊りと、かき鳴らされるギター。人生の喜怒哀楽を物語る情緒的で官能的な旋律！スペイン・アンダルシアにルーツを持つフラメンコ。飛び散る汗と迫力は、強く、激しく、心と魂に響き渡ります！

⑨ 芸人まこと

[THE大道芸]

お客さんのテンションを自由自在に操りまくる天才的なテンションコントローラー！本人以外、いや本人でさえも、なにが起こるか分からない！でも、だからこそ、面白い！芸もトークもやることをなすと、常識無用のミスター治外法権!!!

INTERVIEW 大道芸 inとよはし 2024

① ココナツ山本

[コメディ]

この男、見るからに怪しげ。アグが強い、アグしくない！でも嫌いじゃない。。。いや、むしろ好きだ！そう、この面白さ、吸い寄せられて離れられない…。『ココナツ』。観客の吸引力が変わらない、ただひとつの大道芸人！

② ゼロコ

[マイムコメディ]

せわしない日常の中で、ほっと一息、リズムを変えて、たまにはパフォーマンスを見るなんていかがでしょう？笑いあり、驚きあり、じんわり、しみじみ、ほのぼののしちゃう。ポットの紅茶を飲み終わるまでの魔法の時間！

③ 中国雑技芸術団

[中国雑技]

バランス・軟体・アクロバット、磨き抜かれた身体が魅せる、壮絶な技の数々。観る者の想像を軽く凌駕する驚きの連続に、息を呑むのも忘れてしまうほど！はたして今年ほどんな技が繰り出されるのか？

④ 加納真実

[マイムコメディ]

有無を言わせないギリギリの狂気…！大ヒットした歌謡曲にのせて、奇妙な青いジャージ姿の女が、ストーリーまがいに追ってくる!?これは芸なのか?いやアート?それとも…。抜け出せない加納ワールドをご堪能あれ！

⑤ こ〜すけ

[コメディ]

誰からも愛される抜群のキャラクター!なんといっても注目目は『顔』。目が離せない!心つかまれる!その顔笑える!!天性の才能が輝く、七色の表情のオンパレード!きっとみんな「こ〜すけ」を大好きになっちゃうはず!

⑥ STILTANGO

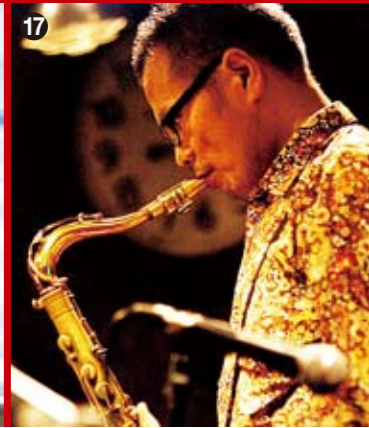
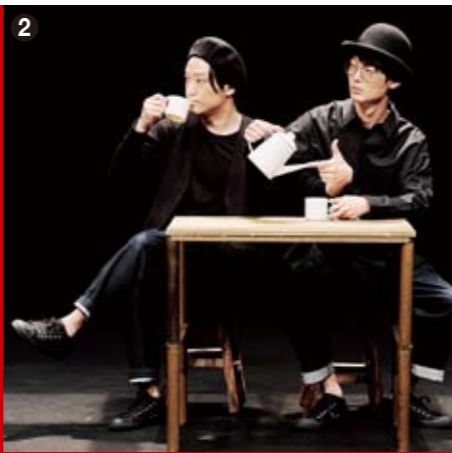
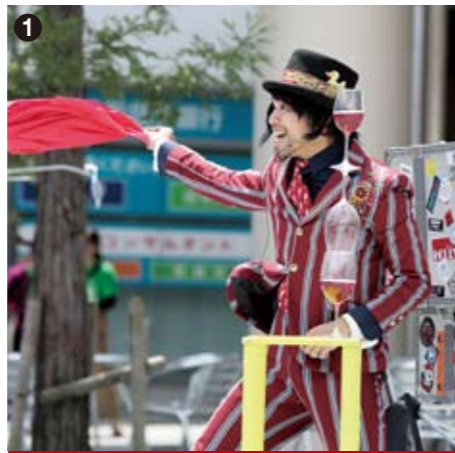
[足長ウォーキングアクト]

街中を優雅に練り歩き、踊りだしたその場所全てが、舞踏会のダンスフロアに移り変わる!男と女。交錯する影と情熱的なステップ!映画のワンシーンみたいに美しい光景!いつもの街が、まるで遠いヨーロッパの街角に!

⑦ ユキンコアキラ

[リズムペイント]

リズムBOXを片手に、キャンパスに向かう孤高のアーティスト。リズムに乗ったステップ、キャンパスに放たれるパッション、そして浮かび上がる印象的な絵画。これぞまさにアートパフォーマンス!



⑩ SUKE3&SYU

[アクロバット]

顔面偏差値、割と高め。脳内偏差値、なんかおバカめ。迫力満点のアクロバットを、コメディを交えながらも感動的に締めくくる!息のあったコンビネーションと重力を忘れさせる美しい光景は、興奮すること間違いなし!!愛すべきアホバットお兄さん!

⑪ ブラックエレファント

[Jazz]

トロンボーン&トランペットを中心とした熱きブラス隊!トランペットの高らかな爆発音、トロンボーンボディに響く低音は、激アツ間違いなし!ルックスは怖いけど、音はとっても優しい!みんなで一緒に盛り上がりましょう!!

⑫ Dctpeppers Theatre

[巨大操り人形]

3mを超す巨大な象が練り歩く!?国内外で活躍し高い評価を得ている人形劇団が、巨大なパペット作品でフェスティバルに初登場!糸操り人形師の眞野トウヨウとの合作により産み出された、圧倒的な存在感と、心を感じる繊細な動き、これは絶対見るしかないっ!!

⑬ 松鶴家天太

[コメディ]

天使の優しさを持つ通称『テンティー!』バルーンにマジック、ジャグリングにバランス芸!笑顔と穏やかなキャラクターが魅力の、癒し系コメディアン!みんなで『テンティー』を応援しよう!!

⑭ 大駱駝艦

[舞踏]

日本を代表する舞踏カンパニー「大駱駝艦」。情熱的かつ野性的な踊りを、群れ踊り、躍動し、儀式的に踏み舞います。からだの豊かさ素晴らしい、肉体の持つエネルギー&パワーを是非とも間近でご覧ください!

⑮ FUNNY BONES

[コメディ]

世界を旅する芸人、クリスとけいぼー。2人がカバンを開くと、おもちゃ箱のように楽しさがあふれだす!特に巨大なゾンビのパペット「TOKYOゾンビーズ」は必見!世界の人々が愛するコメディ&パペットパフォーマンス!

⑯ Asterisk NOVA

[アクロバット]

幅10cm!高さ3m!の巨大な平均台で華麗に舞うSaika。Takuyaが見せるのは、なんと上空8mで魅せるバランス芸、その名も『バランス・オブ・デス』。毎回毎回、命がけのパフォーマンスを青空の下でお見せします!

⑰ 竹内直と

[Jazz]

SAXプレーヤー竹内直を中心に、今、日本で最も実力があると思われる最高のミュージシャン達による夢のLIVE。深みと迫力、圧倒的な存在感。街に響き渡る本物の音色!本気のJazzをお聞き下さい!

『La Mère 母』

6月29日[土]13:00開演

6月30日[日]13:00開演

出演＝若村麻由美、岡本圭人、伊勢佳世、岡本健一

『Le Fils 息子』

6月28日[金]13:00開演（追加公演）

6月29日[土]18:00開演

出演＝岡本圭人、若村麻由美、伊勢佳世、
浜田信也、木山廉彬、岡本健一

作＝フロリアン・ゼレール

翻訳＝齋藤敦子

演出＝ラディスラス・ショラー

会場＝PLAT主ホール



岡本圭人 親子で観れば何かしらの奇跡が起きる作品です。

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー

矢作—— 岡本さんは音楽活動からスタートし、その後、俳優の道へ進んだきっかけをお伺いできますか。
岡本—— 元々お芝居、舞台がすごく身近な存在で、音楽活動をしつつも舞台上に憧れはずっと持っていました。25歳になった時に、演劇の基礎を学びたいと行ったニューヨークは本当に特別な街で。世界から集まる演劇を学ぶ人たちの話を聞いていくうちに、生半可な気持ちじゃできないというのが自分の中にどんどん芽生えてきました。コロナ禍でロックダウンがあり、数か月間まったく違う生活をした時に、本当にやりたいことって何だろう、自分は何をしていきたいのだろうと、いろいろ考えました。そして、やはり舞台上に立ち、人生を費やして探求したいと、2021年に初舞台『Le Fils 息子』に立ちました。

矢作—— 覚悟を決めて日本に帰国し、この作品、作家、演出家と出会い、その上初舞台が父親と共演ということで。その時の印象についてお伺いできますか。
岡本—— 俳優としての一つの仕事で、自分にとって本当に特別な作品でもあります。ですが、初舞台で、かつ父親とも初めての共演。演出家のラディスラスも、キャストの人たち、父親も、「お前大丈夫？できんの？」みたいな(笑)。誰も想像がつかませんでした。

当時は自分が本を読んで想像する何歩も先の、的を射た演出をしていただきました。これが世界のトップレベルの演出家かという気づきもありました。ラディスラスは最初すごく厳しい印象だったのですが、厳しさ以上に愛が強くて、その愛に幾度も助けられました。

その後、様々な現場で多くの演出家の方のお仕事を経験させていただいて、演出家によって台本の読み方がこんなに違うんだということを知り、ラディスラスは本当にすごい演出家なんだと、改めて思いました。初舞台から2年半、いろんな経験をさせていただいた後に、また一緒にできること、またこうやって再演できることが本当にありがたく、楽しみです。

矢作—— 初演と再演を同じ演出家、同じキャストの方々とやりつつ、新作を立ち上げるという作業が同時に行われることにより、作品それぞれがより深みを増していくことが期待できますか。

岡本—— ラディスラスはフランスで『Le Fils 息子』の演出をしていて、それをベースに日本版も演出したのですが、『La Mère 母』は、演出家も初めて演出する作品になります。そのため、ゼロから新しく作り上げる作業と一緒にできる喜びがあります。役名は一緒なのですが、違う家族で続編ではなく別の作品ですが、セリフは若干リンクする。『La Mère 母』の台本を読んで、『Le Fils 息子』はこういう話だったんだと気づいたりしました。

劇作家のフロリアン・ゼレールは、この親子の役は実際の父子で演じてもらうのが一つの夢だったそうで

す。それが初めて実現し、今回、『La Mère 母』と『Le Fils 息子』を同時上演するという劇作家の夢も日本で叶えられ、それぞれの戯曲や舞台をより魅力的に見せられると思います。

矢作—— 『La Mère 母』をまた同じキャストと作り上げる期待感や、初演の時に皆さんから学んだり感じたりしたことや、印象をお伺いできますか。

岡本—— 初演の後に共演者が出演する舞台を観に行くと、伊勢佳世さんは素晴らしい女優さんなんだ、浜田信也さんすごいなと。すごいキャストの方々と一緒にできていたのだなと、改めて実感しました。

若村麻由美さんとは『Le Fils 息子』以来『ハムレット』という作品でも一緒にさせていただき、その後『ラヴ・レターズ』という朗読劇で恋人役を演じました。終わった後で、若村さんが「私はこの子を初舞台から知っている、私がこの子を育てたと言っても過言ではない」と仰ってください、お芝居だけでなく、周りの人とのコミュニケーションの取り方や、スタッフさんへの気配りとかも、学ぶことが多かったです。2年半を経て成長した姿を『Le Fils 息子』では見せたいです。『La Mère 母』は子どもを思う母の物語。若村さんとなら、本当の母と子を演じられるような気がしています。

矢作—— 今回も様々な地域の劇場で上演をしていただくのですが、地方と東京と場所が異なることにより何か違いを感じることはありますか。

岡本—— 全然違います。東京のお客様は、芝居を観慣れているお客様が多く、舞台の見方を知っています。だからちょっとした緊張感もある。舞台の魅力を伝えたいという思いも強くあるので、地方にお住まいの普段舞台を見慣れていないお客様もどんと観に来てほしい。舞台はお客様がいないと出来上がらないもので、お客様と共に作り上げていくもの。そういった方々と一緒に作り上げる作品というのは、東京での作品とは全く違うので、毎回楽しみでしかたがないです。
矢作—— 最後に、初めてこの作品を観に来る方にメッセージをいただけますか。

岡本—— 『Le Fils 息子』『La Mère 母』は、両作品とも読んだ時、自分の家族の話だと思い、自分のこれまでの経験を振り返ったり、『La Mère 母』を読んだ時には、母親に会いたいな、母親ってこういう気持ちだったのかなと感じました。できれば親子と一緒に観に来ていただきたい。これを読んでいるお父さんやお母さん方がちょっと勇気を出して、お子さんを誘って。お子さんたちは、ちょっとお母さん、お父さんと観てみようかなと。それで何かしらの奇跡が起きる作品です。親子で観るからこそ、それがまたいい経験になるのかもしれない。誘い合って観に来ていただけたらうれしいです。

矢作—— ありがとうございます。

桑原——白神さんが埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみに関わる馴れ初めは、どういったきっかけからでしょうか。

白神——キラリ☆ふじみの芸術監督を劇作家の生田萬さんがされていた頃、レジデンスカンパニーになったのが、多田淳之介さん主宰の「東京デスロック」と、田上豊さん主宰の「田上パル」、そして私が主宰を務める「モモンガ・コンプレックス」で、それが劇場と密に関わるきっかけでした。その後、多田さんが芸術監督に就任され、サポートするような形でアソシエイト・アーティストという枠組みで関わり、その後多田さんがお辞めになるときに、田上さんと芸術監督に応募したのです。

桑原——最初は田上さんと白神さんのお二人で芸術監督をされたということですね。多田さんから引き継がれたときに、新たなコンセプトや、二人で決めたスタイルはあったのですか。

白神——誰もが来て良い、誰もがいて良い場、劇場でありたいと田上さんと二人で話していました。市民文化会館なので、市民の方がどう表現し、どう私たちが一緒にやるかだと思っています。就任した時にすでに実施していた子どもステーションなどの企画を掘り下げることと、キラリ☆ふじみの空間を活かしながらダンスカフェや元々継続している事業などが新しくクロスしていくような状況を作りたいねと。

桑原——子どもステーションの企画は芸術監督と子どもたちが遊ぶという企画ですが、結果や成果を生むことが目的ではないということですね。実際どんなことをして遊ぶのですか。

白神——1月は節分まえだったので大きい鬼と鬼のパンツをみんなで作りました。外で遊びたい子どもは池で笹舟作ったり、氷が張るとそれを取って遊んだり。面白いことを始める子がいると、それをみんなでやってみる。屋内に残ったグループがなぜか演劇を始めたりして、みんなバラバラのことをやっている時もありました。子ども

たちがただ本当にやりたい放題できる時間です。桑原——これまでも芸術監督の方々に話を伺ってききましたが、演出家の方々が多かったんです。ダンサーであり、コリオグラファーである白神さんが芸術監督をやる上で、「これを強みに」ということはありましたか。

白神——言葉がいらないので、誰でも関わってもらえる余地があるところ、外でも中でも空間を遊べる場所は強みだと思います。桑原——キラリ☆ふじみが「市民文化会館」だという点で、これまでお話を聞いた「劇場」の芸術監督とはまた役割も違うのでしょうか。白神さんの活動は、市民の方々と一緒に何ができるかと探ることが創作にとって大事だとお考えなんでしょうか、今後それをどう広げていきたいとお考えですか？それとも常にそこにあり続ける、安心できる場所を作られるイメージでしょうか。

白神——安心できる場所として常にあり続ける場所でもありつつ、いろいろなタイプのホールとアーティストがその地域に合った形で関われる。モデルケース的な感じに思ってくれるようになったら良いなと。

桑原——2月に上演されたダンスカフェ スペシャルコラボレーション「幻想曲Ⅱ」の出演者はプロの方で、美術や照明のスタッフワークに一般の方々が加わるといことですが、そのことについて伺えますか。

PURAPURA
バラコの
寄り道ぶらぶら



桑原裕子 自分で遊びを生み出すことが素晴らしい。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術監督

白神ももこ 誰もが来て、居て良い劇場でありたい。

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督

白神——ざっくり言うとテーマやある程度の流れはありつつ即興的にダンスや音楽、そして空間が変容していく作品です。舞台美術家や照明家、衣装家のワークショップに一般公募の方と出演者たちで参加できる人たちが参加して一緒に空間のアイデアを練ります。通常、安全面を考えて釘などでしっかり施工するところを、小学生が発想したりつくったものはセロハンテープで全部つけてあるとか、奇抜な衣装を作ったりして。でもそういうアナーキーさとキラリ☆ふじみの空間や人々は親和性が高いと思います。そこに触発されて、関わるスタッフや出演者たちもとんでもないものを作ったりします。

桑原——大枠のストーリーのようなものや、お客さんに伝えるテーマなどは、白神さんが考えるのですか。

白神——はい。大枠の流れとテーマは私から発信します。それは、何もない舞台から始めて、世界が創られ、発展、そして最後には舞台美術などがバラされて、最初と同じ何もない空間になる、というもので、そこにどんな舞台美術や衣装が登場するか？などはワークショップの中でアイデアを拾ってそれを構成していきます。

桑原——私も子どもの時、段ボールでああじゃあないか、こうじゃあないかと工作してみるのが楽しかった。作品づくりに関わることで、「こういうことが得意なんだ」と自分

自身を知る。そういう自由な選択ができる場所、それは白神さんが、元々やりたいと発案されたことなのですか。

白神——芸術監督に就任した時に、市民参加型をやるならもう少し参加者が能動的に作り出す側になって、かつ空間が変容していく中に、スタッフ、作りたい人、ダンサー、お客さんが混在している状態の作品をやりたいと提案しました。職員の人たちには、どう安全管理すればいいのかわからなくて、やらせてもらっています。

桑原——あらかじめ流れを決めておくのではなく、その場で白神さんもアイデアを発見されたり？

白神——ほぼ即興なので、観客や子どもたちが、気がついたら場面をつくっているようなことがあります。例えばお祭りのシーンでダンサーがただ偉そうに座っているだけなのに、お地蔵さんに見えてくるのか、子どもたちが配ったお花や飲み物などをお客さんが自然とそのダンサーの前にお供えし始めたり。更にそれをまた子どもたちが回収して配ったりするサイクルが発生する。あらかじめ決められたルールではなく自然発生的に流れができる。これはもう社会だなと。

桑原——自分で遊びを生み出すということが素晴らしい。本当の意味の獨創性が育っていく場だなと思いました。そんなキラリ☆ふじみに、外の私たちはどう関わっていけるでしょうか

白神——全然違う地域から観客として来た小学生も、同じぐらいの子がやっている、一緒にやり始めてその場の登場人物になったりする。ちょっと遠いですが、いろんな地域のいろんな方に来てほしい。

桑原——豊橋にも出張で「幻想曲」コラボが来てくれたらうれしいなと思います。

白神——やりたいですね！豊橋は「市民と創造する演劇」もあって、劇場に通うお客さんの層はすごく厚いと思います。

桑原——芸術監督にこんな広げ方があるんだということを知ることができました。ありがとうございました。

白神——ありがとうございます。

桑原——ありがとうございます。

白神——ありがとうございます。

桑原——ありがとうございます。

白神——ありがとうございます。

桑原——ありがとうございます。

白神——ありがとうございます。

桑原——ありがとうございます。

白神——ありがとうございます。

桑原——ありがとうございます。

立川志の輔 独演会

4/17 [水] 18:30開演 予定枚数終了

古典、新作問わず落語に新しい息吹を吹き込む、大人気の立川志の輔による独演会を開催いたします。

出演＝立川志の輔

会場＝PLAT主ホール



プラット 2024 年度 プログラム説明会

4/29 [月・祝] 14:00開演

2024年度、プラットが開催する主催公演等のプログラムをご紹介します。大森瑠子によるダンスパフォーマンスあり。

会場＝PLATアトスペース

料金＝無料(要整理券または劇場ホームページから要申込)※整理券はプラットチケットセンターにて配布中



大道芸 in とよはし 2024

5/4 [土・祝] 11:00～19:00

5/5 [日・祝] 11:00～17:30

今年で、13回目となる大道芸。マイムにアクロバット、JAZZなど、世界で活躍する大道芸人によって、いつもの街がまるごと劇場になる2日間!笑いと涙、超絶びっくり、大道芸のすべてがここにある。

会場＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、ココアベニュー、豊橋駅南口駅前広場、豊橋駅東口サークルプラザ、こども未来館ここにて、まちなか広場、精文館書店本店前[5/5(日・祝)のみ]

料金＝無料

【関連イベント】

竹内直と

The Organic Resonations スペシャルライブ

5/4 [土・祝] 18:00開演

世界を走るサクソ奏者、竹内直が率いるミュージシャンによるスペシャルライブを開催します。

出演＝竹内直と The Organic Resonations

会場＝PLAT主ホール

料金＝入場無料(要整理券)

※整理券は劇場1階窓口にて配布中



PLATレジデンス事業 新作共同制作 アマヤドリ『牢獄の森』

6/14 [金] 19:00開演

6/15 [土] 14:30開演

6/16 [日] 14:30開演

会員先行＝4月13日(土)

一般発売＝4月20日(土)

作・演出＝広田淳一

出演＝倉田大輔、沼田星麻、宮川飛鳥、稲垣干城、星野李奈 ほか

会場＝PLATアトスペース

料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]一般4,000円、U25 2,000円、高校生以下1,000円

【関連企画】

アマヤドリ

「舞台映像」上映会&トーク

4/28 [日] 13:30～16:30

アマヤドリ主宰であり、脚本家、演出家の広田淳一さんをゲストに招き、過去の舞台作品の上映会&トークを行います。チケットの有無を問わず、興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

ゲスト＝広田淳一

会場＝PLAT創造活動室A

参加費＝無料

定員＝25名(先着順)

申込方法＝①プラットチケットセンターの窓口・電話(0532-39-3090)で申込み②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。



2019年上演 アマヤドリ『天国への登り方』 撮影:赤坂久美

PICK UP

8/1 [木] 18:30開演

8/2 [金] 13:00開演

8/3 [土] 13:00開演

8/4 [日] 13:00開演

8月3日のみ

『オーランド』

現代社会に問いかける物語『オーランド』ここに甦る!宮沢演じる一夜にして女性へと変貌する美貌の青年貴族。時代も!国境も!ジェンダーも!軽々と飛び越えて、真の運命の相手、真実の愛を追い求める。

会員先行＝5月11日(土)

一般発売＝5月25日(土)

原作＝ヴァージニア・ウルフ

翻訳＝岩切正一郎

演出＝栗山民也

出演＝宮沢りえ、ウエンツ瑛士、河内大和、谷田歩、山崎一

会場＝PLAT主ホール

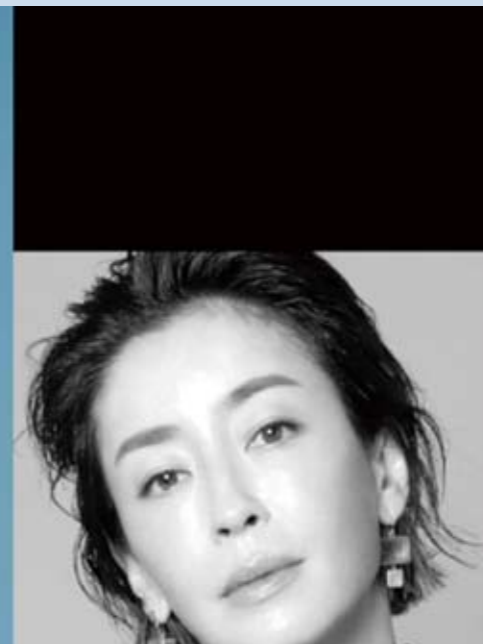
料金＝[全席指定]S席 11,000円、S席ペア 20,000円、

A席 8,000円ほか

※各発売日初日はお一人様1申込につき1公演4枚またはS席ペア2組までの枚数制限あり。



ウエンツ瑛士



宮沢りえ



谷田歩



河内大和



山崎一

『La Mère 母』

好評発売中

6/29 [土] 13:00開演

6/30 [日] 13:00開演

6月29日 13:00のみ

フランス発世界を席巻する作家ゼレールが放つ新作・話題作の二本立て! 家族三部作のラストを飾る『La Mère 母』、2021年度に上演し、高い評価を得た『Le Fils 息子』の再演を同じキャストで同時上演します。

作＝フロリアン・ゼレール
翻訳＝齋藤敦子
演出＝ラディスラス・シヨラー

『Le Fils 息子』

6/28 [金] 13:00開演(追加公演)

6/29 [土] 18:00開演

出演＝

『La Mère 母』若村麻由美、岡本圭人、伊勢佳世、岡本健一

『Le Fils 息子』岡本圭人、若村麻由美、伊勢佳世、浜田信也、木山廉彬、岡本健一

会場＝PLAT主ホール

料金＝[全席指定]『母』『息子』S席セット券18,000円、S席10,000円、A席7,000円ほか

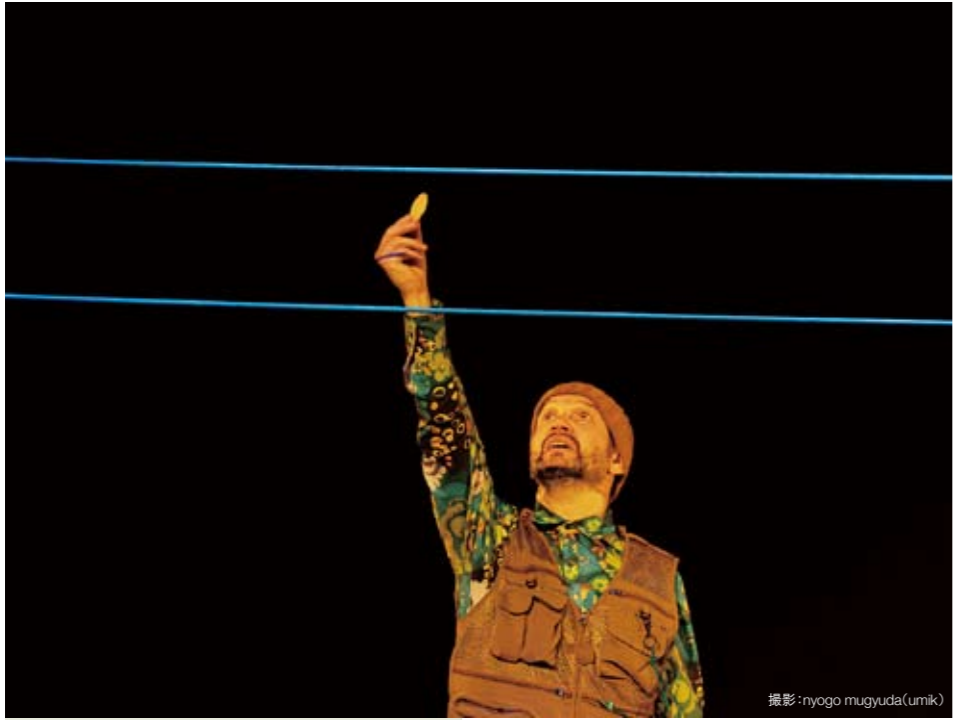
※29日(土)『La Mère 母』は、聴覚に障がいのあるお客様のためのポータブル字幕機の貸出あり(要事前申込)。

託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。
お一人様500円。お申込み、お問合せは
プラットチケットセンターまで

マイセレクト4 対象公演

マイセレクト4
2024



撮影:nyogo mugyuda(umik)

プラット親子わくわくプログラム2024
『ベック』 両公演対象
from スコットランド
7/24 [水] 11:00開演 / 14:00開演
 スコットランドからやってくる、子どもたちのための温かく心
 のもったナンバーバルバパフォーマンス。
 会員先行=5月18日(土)
 一般発売=6月1日(土)
 作=アンディ・マンリー、イアン・キャメロン、シヨナ・レッペ
 出演=アンディ・マンリー
 会場=PLATアールスペース
 料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]おとな1,500
 円、U25 700円、子ども(高校生以下)500円
 推奨年齢=3歳~6歳

加藤訓子プロデュース
「メタクセナキス」 2024 マイセレクト 4
8/24 [土] 14:00開演
 20世紀の偉大な作曲家クセナキスの楽曲を加藤訓子ブ
 ロデュースにより打楽器だけでなく、能舞、ダンスとともに
 お贈りします。
 会員先行=6月15日(土)
 一般発売=6月29日(土)
 出演=加藤訓子(パーカッション)、中野宜夫(能舞)、IX
 percussion(篠崎陽子、濱中陽香ほか)
 演奏予定曲目=「ブレイアデス」「ルボン」「ブサッファ」
 「響・花・間」
 会場=PLAT主ホール
 料金=[全席指定]一般5,000円ほか
 【特別協賛】サーラグループ



ONE CON CONCERT

ワンコインコンサート

若手音楽家育成事業 プラットワンコインコンサート

「若い音楽家には活躍の場を、お客様にはより音楽を楽
 しめる機会を」と企画されたPLATオリジナルのワンコイ
 コンサートです。500円で贅沢なひとときをお過ごし
 ください。
 会場=PLATアールスペース
 料金=[全席自由・日時指定・整理番号付]500円

「交差する彩」 好評発売中

5/29 [水] 14:00開演
デュオ・ミスコラーレ
 松山美津穂(ピアノ)、伊井夕雛(ピアノ)
 演奏予定曲目=シューマン:『子供の情景』より「トロ
 イメライ」Op.15-7、カプーステン:シンフォニエッタ
 Op.49 ほか



松山美津穂 伊井夕雛

「奏でる記憶、色づく情景」

7/5 [金] 18:30開演 好評発売中
高柳鞠子(フルート)
 演奏予定曲目=ショパン:前奏曲 第15番「雨だれ」(フ
 ルートとピアノ版)、上林裕子:道の記憶 ほか



ワンコインコンサート2024 出演者募集

音楽鑑賞の普及と同時に、豊橋および三河地域にゆかり
 のある若手音楽家に演奏の機会を提供し、地域の若手
 音楽家らの試演・育成を目的としたプラットワンコイコ
 ンサート。劇場と共にコンサートをつくり、出演する若手
 音楽家を募集します。
 ※応募条件・詳細は劇場ホームページをご確認ください。
 審査=[一次]書類[二次]実技:6月25日(火)~27日
 (木)のいずれか16:00以降
 申込方法=5月16日(木)までに必要書類を窓口へ提出
 か郵送(必着)

「浮力と瞬刻」

8/7 [水] 14:00開演 / 18:30開演
Femme Fatale
 安間誉和(ピアノ・作曲)、山本大地(ヴァイオリン)、
 鈴木崇朗(バンドネオン)、悦木啓人(ベース・クラリネット・
 作曲)、長谷川志樹(ピアノ)
 会員先行・一般=5月28日(火)
 演奏予定曲目=「park-grass」ほかオリジナル曲、アル
 ゼンチンタンゴ ほか



鈴木崇朗 悦木啓人



長谷川志樹



WORKSHOP

ワークショップ・レクチャー

戯曲講座 ~劇作家のアイデアの源泉~

①5/12 [日] 14:00 ~ 17:00
 ②6/9 [日] 14:00 ~ 17:00
 ③6/23 [日] 14:00 ~ 17:00
 ④7/6 [土] 14:00 ~ 17:00
 講師=①樋口ミュ、②土田英生、③須貝英、④松原俊
 太郎
 会場=PLAT 研修室(小)
 参加費=一般5,000円、U25 3,000円、高校生1,500円
 対象=高校生以上で戯曲の執筆に興味のある方。経験
 不問。
 定員=20人程度(先着順)
 申込方法=4月30日(火)までに①参加申込書を窓口、
 FAXにて提出②劇場ホームページの専用申込フォームよ
 り申込み。

樋口ミュ 演劇ワークショップ

5/11 [土] 14:00 ~ 17:00
 劇作家・演出家の樋口ミュによる、1日完結型の演劇ワ
 ークショップを実施します。
 会場=PLAT 創造活動室A
 参加費=1,000円
 対象=高校生以上(演劇経験不問)
 定員=20人(応募者多数の場合は選考)
 申込方法=4月30日(火)までに①参加申込書を窓口、
 FAXにて提出②劇場ホームページの専用申込フォームよ
 り申込み。



樋口ミュ 撮影:伊藤華織

高校生と創る演劇 出演者&スタッフ募集

公募による高校生出演者とスタッフが、劇場やプロのスタ
 ッフとともに上演する演劇の第11弾。今年は演出・振付
 に下司尚実を迎え上演します。
 対象=2006年4月2日~2009年4月1日生まれで、稽
 古、公演日(11月2日・3日・4日)に参加できる方。
 定員=15人程度
 審査=5月18日(土)、19日(日)のいずれかと5月26
 日(日)
 申込方法=4月26日(金)17:00までに①参加申込書を
 窓口へ持参か郵送にて提出②劇場ホームページの専用
 申込フォームより申込み。

TICKET CENTER

チケットセンター

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

●劇場窓口・電話
 0532-39-3090[休館日を除く10:00~19:00]
 ●オンライン
<http://toyohashi-at.jp>[24時間受付・要事前登録]

●販売初日はオンライン・電話のみ取り扱い。翌日以降、
 残席がある場合は窓口販売あり。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設
 定しています。
 ●料金=U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半
 額/高校生以下:1,000円
 ●購入方法=各公演の一般発売初日から取扱い。
 ●その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
 座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。
 一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



プラットフレンズ募集 入会金・年会費無料

●特典
 1 公演情報をメールでご案内します。
 2 インターネットでチケット予約ができます。
 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約でき
 ます。
 ※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。



2021年『POPPY!!!』 撮影:新谷光太郎

2021年『POPPY!!!』

13年間、ほんとうに幸せでした。

これからも「よろこび」が絶えないことを願っています。平田 満

私は2011年から穂の国とよはし芸術劇場 PLATの芸術文化アドバイザーを拝命し、桑原裕子さんに後を託してからはアソシエイトアーティストとしてお手伝いをしてきましたが、このたび2024年3月をもって退任することになりました。

豊橋に新しい劇場を作るので助言をいただきたい、そしてそこにかかわる芸術監督になってほしいという依頼をうけ、最初は戸惑いましたが、担当の方々の熱心さに打たれ、アドバイザーとしてなら、と就任いたしました。劇場建設計画から名称公募など、初代プロデューサーの中島晴美さんとともに携わり、建設開始、開館、記念事業と進むにつれ、着実に歩みだす様子に心躍りました。

私の希望も入れてくださった劇場は、見やすく聞きやすく、演じやすい劇場としてお客様にもパフォーマーにも評判がよく、小劇場は小さい空間にこだわる方々や若い劇団の発表の場として必要不可欠なものになっています。私たちもアル☆カンパニー公演でずいぶんお世話になりました。

そして市民劇、高校生演劇などさまざまな公演や、ワークショップ、アウトリーチ、創造活動室でのいろいろな活動など、PLATが市民の皆さんに受け入れられて豊かに育っていく姿を見られ、ほんとうに幸せでした。

現芸術監督の桑原さんのもと、豊橋発の創造活動や楽しい文化祭などの新しい試みや充実した公演は目を見張るものがありますし、現プロデューサーの矢作さんのもと、若いスタッフも集まり成長してどんどん頼もしくなり、もともと力強く深化した劇場になると期待しています。

当初から、大都市ではない豊橋にできること、求められることは規模や見栄えではなく、利用する人々の「よろこび」を持続して伝え続けることだと信じてきました。五輪や万博を見てもわかるように、これからは規模やお金の価値よりも、ひとりひとりの生きる意味や喜びにこそ価値がある時代になると思います。PLATがそれを象徴するような存在になってほしいと願っています。

着実に人材が育った今、後進に託して安心して去っていただけます。後顧の憂いはありません。

アソシエイトアーティスト退任にあたって

開館前より芸術文化アドバイザーとしてPLATの立ち上げにご尽力いただき、

2018年からはアソシエイトアーティストとして様々な形で劇場を盛り上げてくださった平田満さんに、心より感謝申し上げます。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

せん。どの社会でも新しい挑戦や活性化のために新陳代謝は必要です。私も昨年70歳になりました。年寄りが牛耳ったり、同じ指導者が何年も居座る集団は不健康です。正月の飾り物のユズリハのように、新しい芽が出たら古い葉は落ちるのが自然です。

とはいえ、私のPLATを応援する気持ちに変わりはありません。これからは一個人としてPLATを見守り支えていきたいと思えます。引退とか退職をするわけではありません。ほかにできることがないので俳優も続けますし、シニアになってこそ、自分ならではの活動や恩返しがあるのではないかと考えています。舞台芸術や劇場はどんな人にも開かれているので、PLATと共同作業できるなら喜んで協力するつもりです。

豊橋、そして東三河、東海地方、日本も世界も変わっていくと思いますが、いつまでも人の心に「よろこび」が絶えないよう願っています。

長い間PLATという劇場にかかわれたことを感謝します。ほんとうにありがとうございました。

SPONSOR

広告募集

知識製造業
三遠機材株式会社
http://www.san-en.co.jp

Gallery 48
呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊
電話 52-5256

グロリアンピアノ地域特約店
白羽楽器 株式会社
電話 053-464-3015

ケンチワ 701
KURONO ARCHITECT STUDIO
y.qlo0170@gmail.com

看板広告 アラキスタジオ
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら
精文館書店
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
医療法人 栄真会 伊藤医院
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間
日菜 せく宗
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
豊橋調理製菓専門学校
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

この印刷物は、FSC® 認証紙を使用して環境負荷の低い水なし印刷で作製いたしました。また、カーボンオフセットを行い生産におけるCO₂排出実質ゼロを達成しています。



豊橋銀行協会 (順不同)
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 三十三銀行
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶屋菓子専門店
若松園
御菓子司

気まぐれコンサート
事務局 / 0532-62-9259 (小川)

安心・安全な地下駐車場
パワ500
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
医療法人 塩之谷整形外科
理事長 塩之谷 香
豊橋市植田町関取54 電話0532-25-2115(代)

豊橋名産 舟ちくわ

井上皮フ科クリニック
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝
電話0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩俊夫 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
高誠堂
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
株式会社 三光製作所
三光精密工業株式会社
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala

サーラグループ



SUPPORT

特別賛助会員のご紹介

私たちは穂の国とよはし芸術劇場の活動を支援しています。

- 株式会社アイゼロ
- 旭精機株式会社
- 株式会社イクモ
- 税理士法人イグラ会計
- イノチオホールディングス株式会社
- 株式会社エクステージ
- 大和田和恵
- 株式会社オリエント楽器
- 医療法人住道会 藤城歯科医院
- 蒲郡信用金庫
- 川西塗装株式会社
- 河原崎 妙
- 株式会社三光製作所
- 三光精密工業株式会社
- サーラエナジー株式会社
- 株式会社サーラコーポレーション
- 三遠機材株式会社
- 株式会社東雲座カンパニー
- 株式会社シュガーサウンド
- 大三紙業株式会社
- 戸田淳子
- トヨタネ株式会社
- トヨネ株式会社
- 株式会社豊橋印刷社
- 豊橋芸術文化事業サポート株式会社
- 豊橋ケーブルネットワーク株式会社
- 豊橋信用金庫
- 豊橋鉄道株式会社
- 早川直宏
- 株式会社平松食品
- 藤城建設株式会社
- 学校法人藤ノ花学園
- 株式会社豊川堂
- 松井商事株式会社
- 村田小児歯科センター
- 物語コーポレーション
- 有楽製菓株式会社 豊橋夢工場
- 若松園
- 匿名会員1名 (五十音順)

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
電話=0532-39-8810[代表](9:00-20:00)
開館=9:00-22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただき、
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT